

2020年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	人間関係学Ⅱ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT学科・3年
				曜日・時限	月曜日・2限目
担当教員	中村 千紘				
授業概要	身体疾患、精神疾患を問わず、治療を行うにあたって患者と治療者が信頼関係を結ぶことは重要である。治療者－患者関係は相互関係であるので、患者が治療者に抱く情緒だけでなく、治療者が患者にどのような情緒や態度を示すかということも治療者との関係に影響する。セラピストとしてどのように患者との関係を築いていけばよいか。この講義はそのプロセスについて学ぶ。				
学習目標	① セラピストとしての適切な態度を学び実践できるようになる。 ② 構成的・投影的作業を用いた観察と分析ができるようになる。 ③ 観察した内容をレポートに表記できるようになる。				
回数					担当教員
1回目(9/7)	オリエンテーション 治療者-患者関係のとり方				中村 千紘
2回目(9/14)	治療契約と治療構造の重要性				中村 千紘
3回目(9/28)	初回面接と情報収集面接の実施(実技)				中村 千紘
4回目(10/5)	チェックリストを用いた面接実技①				中村 千紘
5回目(10/5)	チェックリストを用いた面接実技②				中村 千紘
6回目(10/12)	認知・知能検査について(実技)				中村 千紘
7回目(10/19)	作業面接①(実技)				中村 千紘
8回目(10/26)	作業面接②(実技)				中村 千紘
9回目(11/2)	作業面接③(実技)				中村 千紘
10回目(11/2)	作業面接④(実技)				中村 千紘
11回目(11/9)	構成的作業を用いた作業面接(箱作り法)①				中村 千紘
12回目(11/9)	構成的作業を用いた作業面接(箱作り法)②				中村 千紘
13回目(11/16)	投影的作業面接(アジマバッテリー)①				中村 千紘
14回目(11/16)	投影的作業面接(アジマバッテリー)②				中村 千紘
15回目(11/30)	まとめ				中村 千紘
教科書及び参考書	精神医学テキスト(改訂第4版)精神障害の理解と治療のために/南江堂 随時、プリント等の配布を行う。				
成績評価	定期テスト80%、レポート20% 欠席は3点、遅刻は1点減点とする。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
精神科の評価法で学んだ手技を実践し、患者－治療者関係を意識した関わりを行うことを目的とします。作業を用いた面接評価が臨床実習においてスムーズに実施できるよう、観察の手技や観察内容の分析、記載の仕方を意識して臨んでください。作業面接での観察内容はそれぞれレポート課題とします。締め切りを厳守してください。 なお、作業面接の際には道具等が必要になることがあります。その際は、指示を出しますので忘れないように持参してください。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
精神科病院、メンタルクリニック、老人保健施設において作業療法士として勤務。身体や精神に疾患を持った患者様や認知症を患われた方と治療関係を結ぶためには信頼関係が欠かせない。どのように関係構築をしていくのかについて講義と学生同士での作業を通じた観察という実技、その内容をレポートにまとめることで、評価から考察内容を表記していく過程を学ぶ。					

2020年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業治療学Ⅳ(老年期障害) (実習)	授業 形態	講義・演習・ 実習	学科・年次	OT・3年
				曜日・時限	月曜・3限4限
担当教員	藤野 頼貴				
授業概要	我が国は世界に類を見ない高齢化と少子化が進んでいます。医療はもとより、保健・福祉分野での作業療法士の需要増が見込まれます。高齢社会では、疾患や障害へのアプローチもさることながら、障害予防という点が重視されています。「よき生き方」が「よき死に方」へとつながる為、障害をもった高齢者ばかりでなく、健康高齢者にも焦点を当てる必要があります。後期では事例検討を中心に臨床推論を深めていきます。				
学習目標	・一般高齢者、介護予防、認知症高齢者に対する作業療法の理解 ・ケーススタディを通じた評価、治療、再評価の一連の流れの理解				
回数					担当教員
1回目(9/7)	高齢期の作業療法の実践課程				藤野 頼貴
2回目(9/7)	病期に応じた治療・援助内容の違い				藤野 頼貴
3回目(9/14)	実施場所に応じた治療・援助内容の違い				藤野 頼貴
4回目(9/14)	一般高齢者の作業療法				藤野 頼貴
5回目(9/28)	介護予防の作業療法				藤野 頼貴
6回目(9/28)	認知症高齢者の作業療法①				藤野 頼貴
7回目(10/5)	認知症高齢者の作業療法②				藤野 頼貴
8回目(10/5)	健康高齢者のケース				藤野 頼貴
9回目(10/12)	健康高齢者のケース		* 小テスト		藤野 頼貴
10回目(10/12)	ケーススタディ①				藤野 頼貴
11回目(10/19)	要支援者のケース				藤野 頼貴
12回目(10/19)	ケーススタディ②				藤野 頼貴
13回目(10/26)	軽度の認知症高齢者のケース				藤野 頼貴
14回目(10/26)	ケーススタディ④				藤野 頼貴
15回目(11/2)	要介護者のケース①				藤野 頼貴
16回目(11/2)	要介護者のケース②				藤野 頼貴
17回目(11/6)	ケーススタディ③				藤野 頼貴
18回目(11/9)	中等度の認知症高齢者のケース				藤野 頼貴
19回目(11/9)	ケーススタディ⑤				藤野 頼貴
20回目(11/16)	重度の認知症から寝たきりに移行したケース				藤野 頼貴
21回目(11/16)	ケーススタディ⑥				藤野 頼貴
22回目(11/30)	終末期のケース				藤野 頼貴
23回目(11/30)	ケーススタディ⑦				藤野 頼貴
教科書及び 参考書	標準作業療法学 高齢期作業療法学 第3版				
成績評価	定期テスト(69%)小テスト(10%)提出物(21%) 欠席・遅刻は減点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
後期は事例検討を中心に進めていきます。作業療法の一連の流れを理解し、それらをデイリーやケースノートに記載していく事を通じて急性期～維持期までの流れを理解したり、病院～在宅での支援までをイメージして、その場その場で行うべき作業療法の優先順位を理解していきましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
認知症治療病棟・重度認知症デイケア・訪問看護からのリハビリテーション・デイサービスにて勤務し、認知症をはじめとする高齢者へのリハビリテーションに従事してきました。また地域などでも認知症カフェ等の講師を行ってきた為、医学的リハビリテーションのみならず、予防領域においても地域包括ケアシステムの一役を担えるように授業を展開します。					

2020年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業治療学Ⅲ(発達障害)(実習)	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	作業療法学科3年次
				曜日・時限	火曜・1, 2限
担当教員	伊藤ひろ美				
授業概要	発達領域の主な対象疾患や障害について、障害特性を学習し、作業療法評価や作業療法アプローチの方法を考えられるよう、講義、グループワークの形式で学習する。				
学習目標	1. 各疾患の臨床像から、生活面での問題を考えることができる。 2. 必要な評価を列挙し、その目的を説明できる。 3. 作業療法の治療・援助指導方法が考えられるようになる。				
回数					担当教員
1回目(9/1)	感覚統合機能に対するアプローチ①				伊藤 ひろ美
2回目(9/1)	感覚統合機能に対するアプローチ②				伊藤 ひろ美
3回目(9/8)	感覚統合機能に対するアプローチ③				伊藤 ひろ美
4回目(9/8)	感覚統合機能に対するアプローチ④				伊藤 ひろ美
5回目(9/15)	感覚統合機能に対するアプローチ⑤				伊藤 ひろ美
6回目(9/15)	感覚統合機能に対するアプローチ⑥		(小テスト)		伊藤 ひろ美
7回目(9/29)	姿勢と運動へのアプローチ①				伊藤 ひろ美
8回目(9/29)	姿勢と運動へのアプローチ②				伊藤 ひろ美
9回目(10/6)	姿勢と運動へのアプローチ③				伊藤 ひろ美
10回目(10/6)	姿勢と運動へのアプローチ④				伊藤 ひろ美
11回目(10/13)	姿勢と運動へのアプローチ⑤				伊藤 ひろ美
12回目(10/13)	姿勢と運動へのアプローチ⑥		(小テスト)		伊藤 ひろ美
13回目(10/20)	摂食嚥下機能に対するアプローチ①				伊藤 ひろ美
14回目(10/20)	摂食嚥下機能に対するアプローチ②				伊藤 ひろ美
15回目(10/27)	デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対するアプローチ①				伊藤 ひろ美
16回目(10/27)	デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対するアプローチ②				伊藤 ひろ美
17回目(11/10)	二分脊椎に対するアプローチ				伊藤 ひろ美
18回目(11/10)	二分脊椎に対するアプローチ				伊藤 ひろ美
19回目(11/17)	分娩麻痺に対するアプローチ				伊藤 ひろ美
20回目(11/17)	その他の対象に対するアプローチ				伊藤 ひろ美
21回目(11/24)	治療手段としての遊び		(小テスト)		伊藤 ひろ美
22回目(11/24)	作業療法士の基本的態度 作業療法士にできること				伊藤 ひろ美
23回目(11/25)	まとめ 試験対策				伊藤 ひろ美
教科書及び参考書	教科書:ゴールドマスターテキスト「発達障害 作業療法学」 参考書:「発達障害の作業療法 実践編」				
成績評価	期末試験80% 小テスト20% (欠席1回につき3点減点 遅刻1回につき1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
発達障害領域の対象となる疾患の臨床像と合わせて、発達過程にそれらがどのような影響を及ぼしているのか、どのような生活のしづらさにつながっているのか、ということに着目できるようになってほしいと思います。どんな遊びが活用できるかも、自分の中で考えられるといいですね。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
老人保健施設、訪問リハ等での臨床経験をもとに、作業療法の実際について授業を行う。					

2020年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業療法概論(研究法)	授業 形態	講義・演習(実習)	学科・年次	OT3年
				曜日・時間	火 3限・木1~4限
担当教員	齊藤 清貴				
授業概要	研究法に関して研究の基礎知識、研究の進め方、コンプライアンス等に関して本講義でこれらの実践的な知識を学び、理解を深めていく。				
学習目標	①研究法の概要を理解する。 ②文献検索から必要な情報を入手、活用することが出来る。 ③研究計画書の作成が出来る。 ④研究発表を体験する。				
回数					担当教員
1回目(9/1)	オリエンテーション				齊藤清貴
2回目(9/8)	研究法基礎講義①				齊藤清貴
3回目(9/15)	研究法基礎講義②				齊藤清貴
4回目(9/29)	研究法基礎講義③				齊藤清貴
5回目(10/6)	研究計画書・研究レポート作成①				齊藤清貴
6回目(10/13)	研究計画書・研究レポート作成②				齊藤清貴
7回目(10/20)	研究計画書・研究レポート作成③				齊藤清貴
8回目(10/27)	研究計画書・研究レポート作成④				齊藤清貴
9回目(11/10)	研究計画書・研究レポート作成⑤				齊藤清貴
10回目(11/17)	研究計画書・研究レポート作成⑥				齊藤清貴
11回目(11/24)	研究計画書・研究レポート作成⑦				齊藤清貴
12回目(11/26)	研究結果発表①				齊藤清貴
13回目(11/26)	研究結果発表②				齊藤清貴
14回目(11/26)	研究結果発表③				齊藤清貴
15回目(11/26)	研究結果発表④				齊藤清貴
教科書及び 参考書	作業療法士のための研究法入門 鎌倉矩子・宮前珠子・清水 一 : 三輪書店 ※必要資料は随時配布する。				
成績評価	研究発表会:50%、研究計画書、授業態度:50% 欠席1回 3点、遅刻1回 1点減点します。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
成績は研究発表会・研究計画書・研究レポート等で総合的に判断します。 研究法では将来に必要な研究論文の作成に関する幅広い知識や見識が必要です、実際の研究の重要性や楽しさを体験し身に付けて下さい。					
※特別な許可なく授業中の飲食、携帯・スマートフォン等の操作は厳禁、電源は切ること。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
作業療法士として各領域の勤務、管理者を歴任してきた経験から実践的な講義を行います。					

2020年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	評価実習事前指導	授業 形態	講義・演習(実習)	学科・年次	OT3年
				曜日・時限	火・水・木 4限
担当教員	齊藤 清貴				
授業概要	評価実習に関して実習態度や知識、技術に関して総合的に振り返る。基礎知識は多方面にわたり学習する内容も多いが、本講義ではこれらの実践的な知識を学び、理解を深めていく。				
学習目標	①評価実習の概要を理解する。 ②作業療法士としての実習態度・知識・技術全般について確認する。 ③作業療法士の業務内容について理解する。				
回数					担当教員
1回目(9/1)	オリエンテーション				齊藤清貴
2回目(9/2)	評価実習基礎講義①				齊藤清貴
3回目(9/8)	評価実習基礎講義②				齊藤清貴
4回目(9/9)	評価実習基礎講義③				齊藤清貴
5回目(9/15)	評価実習実技演習①				齊藤清貴
6回目(9/16)	評価実習実技演習②				齊藤清貴
7回目(9/29)	評価実習実技演習③				齊藤清貴
8回目(10/6)	評価実習実技演習④				齊藤清貴
9回目(10/13)	評価実習実技演習⑤				齊藤清貴
10回目(10/20)	評価実習実技演習⑥				齊藤清貴
11回目(10/27)	評価実習実技演習⑦				齊藤清貴
12回目(11/10)	評価実習実技演習⑧				齊藤清貴
13回目(11/17)	評価実習実技演習⑨				齊藤清貴
14回目(11/19)	評価実習実技演習⑩				齊藤清貴
15回目(11/24)	総まとめ				齊藤清貴
教科書及び 参考書	評価学・治療学で使用した教科書、授業資料 ※必要資料は随時配布する。				
成績評価	実技テスト(80%)実習報告会(20%)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>成績は、実技テスト・実習報告会で総合的に判断します。 評価実習では幅広い知識や技術が必要です、今まで学んだ基礎について復習、練習を時間のある限り行うようにして下さい。 ※特別な許可なく授業中の飲食、携帯・スマートフォン等の操作は厳禁、電源は切ること。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
作業療法士として各領域の勤務、管理者を歴任してきた経験から実践的な講義を行います。					

更生保護(3210)		大兼健寛		併修科目・必修	
				3年	
				OT 水曜 2限	
授業のねらい	更生保護制度の概要と保護観察におけるダブルロールについて学ぶ。				
	日本の刑事政策における仮釈放制度や、保護観察制度の多面的側面について学ぶ。				
	更生緊急保護という、特殊な状況下における更生保護処遇について学び、現代社会における刑事政策と福祉政策の在り様について学ぶ。				
教科書・資料		大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。			
設 題	レポート1 (ポイント)	刑事政策における更生保護の意義と保護観察におけるダブルロールについて 我が国の刑事政策において更生保護制度が担っている役割、機能を中心に論述し、保護観察は本人の行動を統制、制限する権力的側面とその社会復帰を援助する両側面について、これをダブルロールという言葉を用いてより具体的に述べる。	清書	11/18(水)9:30締切	
	レポート2 (ポイント)		清書		
	科目終了試験	学習のポイント1・仮釈放について 学習のポイント2・保護観察について 学習のポイント4・更生緊急保護につて	科目修了試験11月25日(水) 実施予定		
1	9月23日	学習のポイント・1 仮釈放について (1250字レポートA切:9月30日)			
2	9月30日	学習のポイント・2 保護観察について (1250字レポートA切:10月7日)			
3	10月7日	学習のポイント・4 更生緊急保護について (1250字レポートA切:10月14日)			
4	10月28日	刑事政策における更生保護の意義			
5	11月4日	保護観察制度の仕組みとその機能におけるダブルロール			
6	11月18日	清書A切			
7	11月25日	科目終了試験			
成績評価	出席率	80%以上の出席率であること。それに満たない場合、別途課題レポートを提出すること。			
備考	授業中にレポート作成時間を設けはしますが、時間の都合上、満足できるほどの時間は作れないかと思えます。そのようでありますので、自身の時間を効率よく活用し、レポート作成を行ってください				
	レポート・学習のポイントのA切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回るとことになれば、別途課題の提出を求めます。				

2020年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	義肢装具学(演習)	授業形態	講義 (演習)・実習	学科・年次	作業療法学科3年
				曜日・時限	水曜日 3、4限
担当教員	吉田 準				
授業概要	作業療法士として、脳血管障害、中枢神経系の疾患、関節リウマチ、手のリハビリ(ハンドセラピー)の疾患に適応される装具について学ぶ。 また、その代表的な装具であるコックアップスプリント、短対立スプリントを作成する。				
学習目標	作業療法士に特に必要とされる、上肢の装具について、分類できる。 装具によって適応できる疾患、症状について知る。 装具の目的と使用方法を記述できる。				
回数					担当教員
1回目(9/2)	上肢装具とは				吉田 準
2回目(9/9)	上肢装具の適応				吉田 準
3回目(9/16)	末梢神経障害の上肢装具				吉田 準
4回目(9/23)	手の外科の術前、術後装具				吉田 準
5回目(9/23)	関節リウマチの装具				吉田 準
6回目(9/30)	Cock up splint の作成1				吉田 準
7回目(9/30)	Cock up splint の作成2				吉田 準
8回目(10/7)	Cock up splint の作成3				吉田 準
9回目(10/7)	Cock up splint の作成4				吉田 準
10回目(10/14)	短対立装具の作成1				吉田 準
11回目(10/14)	短対立装具の作成2				吉田 準
12回目(10/28)	短対立装具の作成3				吉田 準
13回目(10/28)	短対立装具の作成4				吉田 準
14回目(11/4)	上肢装具まとめ1				吉田 準
15回目(11/4)	上肢装具まとめ2				吉田 準
教科書及び参考書	「熱可塑性スプリント 作成マニュアル」 「義肢装具学」				
成績評価	定期テスト100% 欠席3点、遅刻1点減点とする。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
実際に装具を作成することで、装具の機能と適合性を実感してもらうことを目的としている。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
手のリハビリを行う過程で、経験した装具作成の知見を活かして具体的な重要点を伝えていく。					

2020年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業治療学Ⅱ(精神障害)(実習)	授業形態	講義・演習・ 実習	学科・年次	OT学科・3年
				曜日・時限	木・1,2限目
担当教員	中村 千紘/齊藤 清貴				
授業概要	精神科における評価と治療について学ぶ講義です。 前半は、精神科の評価と治療目標の立案までの授業となります。 後半は、精神科の治療を中心とした講義となります。				
学習目標	1. 精神疾患についての評価を理解し、実施することができる。 2. 治療目標を立案することができる。 3. 精神障害の治療について理解する。				
回数					担当教員
1回目(9/3)	オリエンテーション 防衛機制について				中村 千紘
2回目(9/3)	回復過程と精神科作業療法プロセス				中村 千紘
3回目(9/10)	作業療法評価の基本の流れ				中村 千紘
4回目(9/10)	評価—情報収集内容				中村 千紘
5回目(9/17)	評価—観察法とチェックリスト				中村 千紘
6回目(9/17)	評価—面接法				中村 千紘
7回目(9/24)	評価—各テストバッテリーについて①				中村 千紘
8回目(9/24)	評価—各テストバッテリーについて②				中村 千紘
9回目(10/1)	評価—テストバッテリー(箱作り法)				中村 千紘
10回目(10/1)	評価—テストバッテリー(アジマバッテリー)				中村 千紘
11回目(10/8)	作業療法の治療目標				中村 千紘
12回目(10/8)	評価のまとめ				中村 千紘
13回目(10/15)	統合失調症スペクトラムの作業療法①				齊藤 清貴
14回目(10/15)	統合失調症スペクトラムの作業療法②				齊藤 清貴
15回目(10/22)	気分障害(躁うつ病)の作業療法①				齊藤 清貴
16回目(10/22)	気分障害(躁うつ病)の作業療法②				齊藤 清貴
17回目(10/29)	神経症圏の作業療法①				齊藤 清貴
18回目(10/29)	神経症圏の作業療法②				齊藤 清貴
19回目(11/5)	神経症圏の作業療法③				齊藤 清貴
20回目(11/5)	神経症圏の作業療法④				齊藤 清貴
21回目(11/12)	神経症圏の作業療法⑤				齊藤 清貴
22回目(11/12)	発達障害・高次脳機能の作業療法				齊藤 清貴
23回目(11/19)	総まとめ・定期テスト対策				齊藤 清貴
教科書及び参考書	精神障害と作業療法 新版/三輪書店 精神医学テキスト 改訂第4版/南江堂 その他随時、プリント等の配布を行う。				
成績評価	定期テスト100% 欠席3点、遅刻1点減点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
精神領域において、患者さんをどのように評価し、治療をしていくかということを実践も交えて学ぶ科目となります。前期に学んだ疾患特徴について、知識があいまいな学生はきちんと復習をし、どの疾患に対してどのような評価を実施していくのか、どのように治療的に対応していくのかを着実に理解していくようにしましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
精神科病院、メンタルクリニックにおいて精神科作業療法士として勤務する。その経験をいかし、精神科の評価について講義と面接等の実技を含めた授業を実施する。(中村) 精神科作業療法士としての勤務、管理者を歴任してきた経験から精神科作業療法の実践的な講義を行います。(齊藤)					

2020年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業治療学(身体障害Ⅲ)(実習)	授業形態	講義・演習 (実習)	学科・年次 曜日・時限	作業療法学科3年 金曜日 2、3限
担当教員	吉田 準				
授業概要	様々な疾患別に、各疾患の病像と症状、それに対する作業療法サービスの提供方法について学ぶ。				
学習目標	今後、医療護の分野で、そこにいらっしゃる患者さんの様々な症状、心理などに対して、作業療法士として何が できるか、何をしなければならないか、を学んでいく。				
回数					担当教員
1回目(9/4)	神経変性疾患 まとめ①(脊髄小脳変性症)				吉田 準
2回目(9/4)	神経変性疾患 まとめ②(脊髄小脳変性症)				吉田 準
3回目(9/11)	神経変性疾患 まとめ③(筋萎縮性側索硬化症)				吉田 準
4回目(9/11)	神経変性疾患 まとめ④(全体)				吉田 準
5回目(9/18)	神経変性疾患 まとめ⑤(全体)				吉田 準
6回目(9/18)	骨関節疾患 熱傷①				吉田 準
7回目(9/25)	骨関節疾患 熱傷②				吉田 準
8回目(9/25)	骨関節疾患 熱傷③				吉田 準
9回目(10/2)	内部疾患① 心疾患1				吉田 準
10回目(10/2)	内部疾患② 心疾患2				吉田 準
11回目(10/9)	内部疾患③ 心疾患3				吉田 準
12回目(10/9)	内部疾患④ 心疾患 まとめ				吉田 準
13回目(10/16)	内部疾患⑤ 呼吸器疾患1				吉田 準
14回目(10/16)	内部疾患⑥ 呼吸器疾患2				吉田 準
15回目(10/23)	内部疾患⑦ 呼吸器疾患3				吉田 準
16回目(10/23)	内部疾患⑧ 呼吸器疾患 まとめ				吉田 準
17回目(10/30)	内部疾患⑨ 糖尿病1				吉田 準
18回目(10/30)	内部疾患⑨ 糖尿病2				吉田 準
19回目(11/6)	内部疾患⑩ 糖尿病3				吉田 準
20回目(11/6)	内部疾患⑩ 糖尿病 まとめ				吉田 準
21回目(11/13)	内部疾患⑫ 内部疾患 まとめ1				吉田 準
22回目(11/13)	内部疾患⑬ 内部疾患 まとめ2				吉田 準
23回目(11/20)	全体のまとめ				吉田 準
教科書及び 参考書	「標準作業療法学 身体機能作業療法学」第3版/医学書院 「病気が見える」、7「脳・神経」、2「循環器」、4「呼吸器」、8「腎・泌尿器」/メディックメディア その他随時、プリント等の配布を行う。				
成績評価	定期テスト100% 欠席3点、遅刻1点減点とする。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
様々な身体障害を呈する疾患や外傷に対して、それらがどのような症状を呈して、その症状に対してどのような作業療法としての 対応をしていくのか、について学びます。 医療的な対応や、日常生活での対応について専門職としての対応とはどのようなものか、興味を持って学んでほしいと思 います。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
大学附属病院での勤務の中で、様々な疾患を持たれた方々に出会い、作業療法サービスを提供してきた。その経験から、患者さん の症状、治療対応を踏まえて講義を行っていきたい。					

2020年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	就職対策	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	作業療法学科・3年
				曜日・時限	金曜日・4限目
担当教員	榎本 幹郎 / 新谷 理子				
授業概要	就職活動の手引きを基に、就職活動に必要な基本的な知識やマナーについて講義します。				
学習目標	就職活動に必要な基本的な知識やマナーを身につけましょう。				
回数					担当教員
1回目(9/4)	オリエンテーション、公務員について				榎本/新谷
2回目(9/11)	就職活動の流れ、求人票の見方				榎本/新谷
3回目(9/18)	電話のかけ方				榎本/新谷
4回目(9/25)	訪問の心得				榎本/新谷
5回目(10/2)	手紙の書き方				榎本/新谷
6回目(10/9)	受験の手続きについて				榎本/新谷
7回目(10/16)	自己分析①				榎本/新谷
8回目(10/23)	自己分析②				榎本/新谷
9回目(10/30)	履歴書の書き方①				榎本/新谷
10回目(11/6)	履歴書の書き方②				榎本/新谷
11回目(11/13)	履歴書の書き方③				榎本/新谷
12回目(11/20(金)3限目)	就職試験の概要、公務員受験対策について				榎本/新谷
13回目(11/20)	面接試験について①				榎本/新谷
14回目(11/27(金)3限目)	面接試験について②				榎本/新谷
15回目(11/27)	内定後の対応、時事問題				榎本/新谷
教科書及び参考書	就職活動の手引き				
成績評価	遅刻・居眠り・忘れ物・課題の提出状況等の授業への取り組み姿勢と面接に関する授業で評価します。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
この科目は、皆さんが就職活動を円滑にかつ積極的に展開できるよう、就職面接試験、一般教養・時事問題等の筆記試験や適性試験といった就職活動への対策を行います。さらに社会人としてのマナーを身につけることを目標としていますので、遅刻・居眠り・忘れ物・課題の提出状況等の授業への取り組み姿勢を評価の中心とし、あとは面接に関する授業で評価します。1回目でお渡しする就職の手引きは毎回持参してください。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					